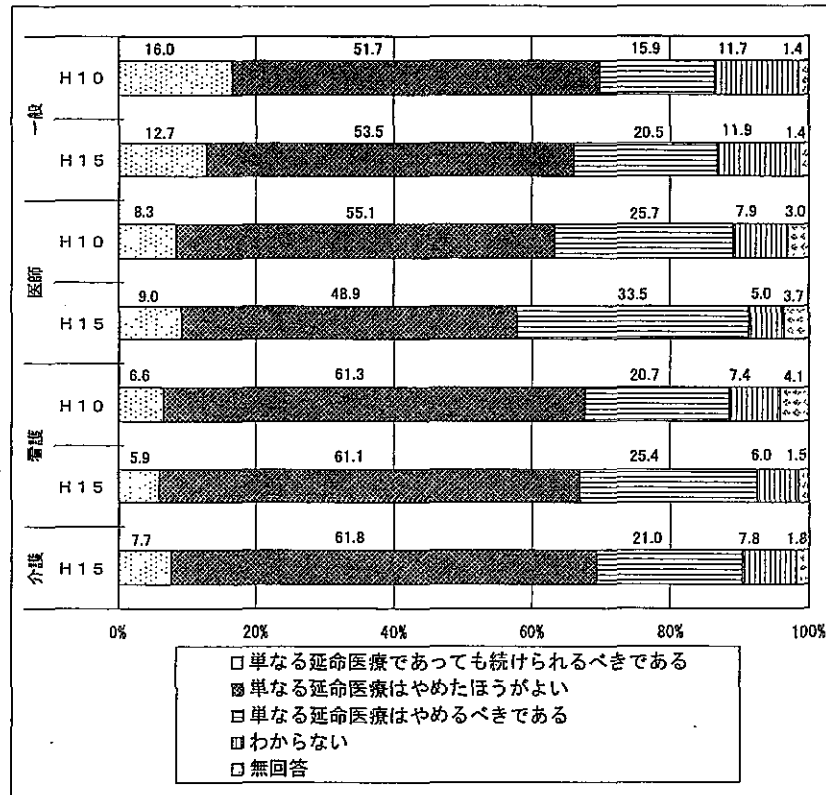


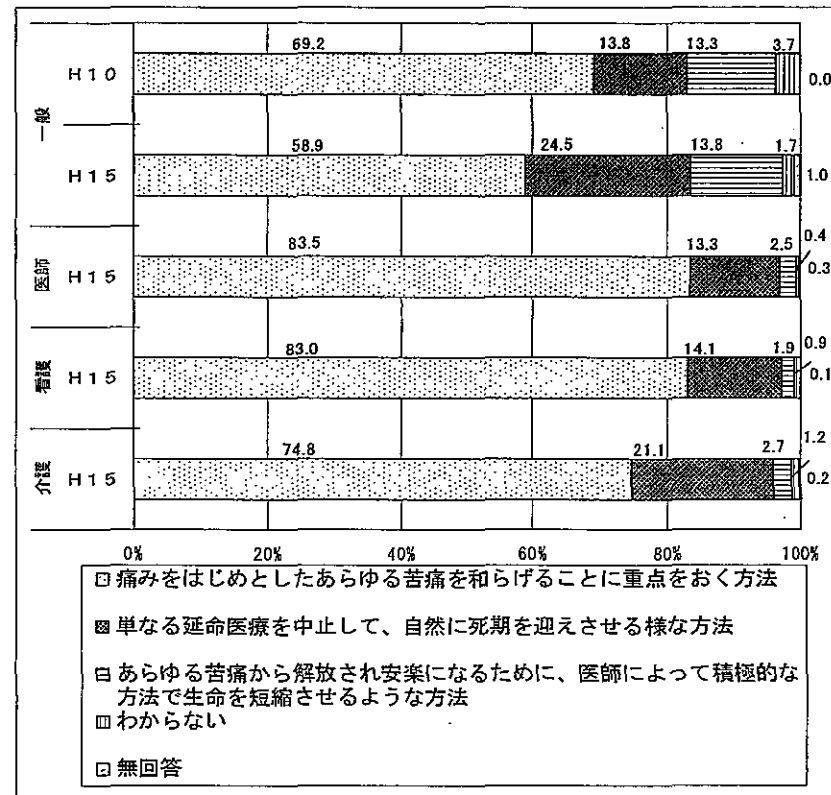
終末期医療に対する国民意識

終末期医療に関する調査等検討会報告書(平成16年7月)より抜粋

自分が痛みを伴う末期状態の患者になった場合、単なる延命医療をやめることには肯定的である。



苦痛を和らげることに重点を置く方法を選ぶ人が多く、積極的な方法で生命を短縮させる行為は許容されていない。

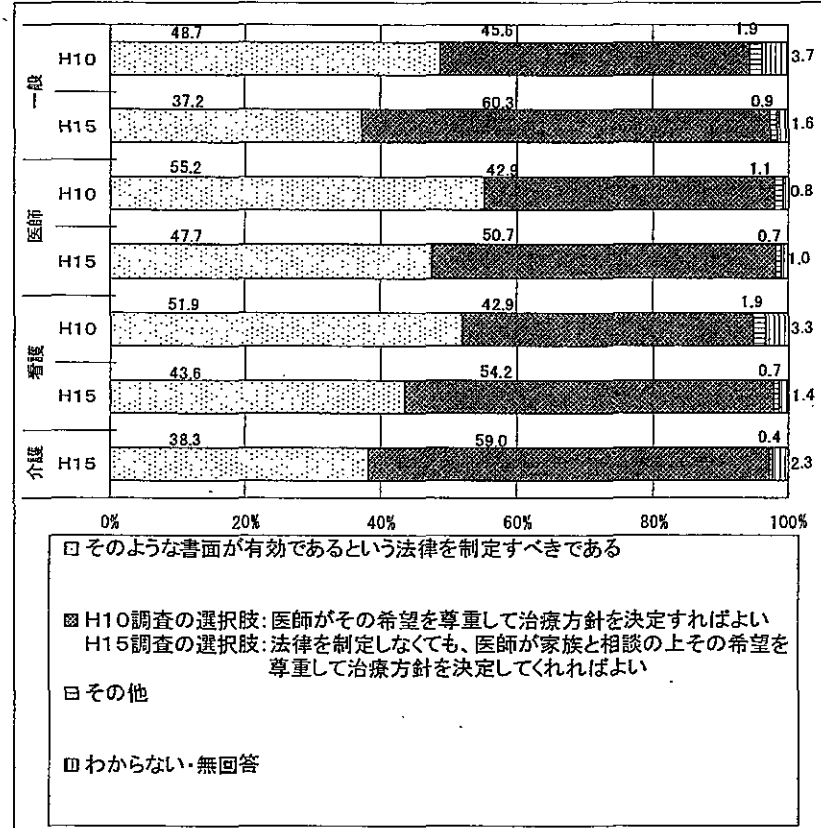
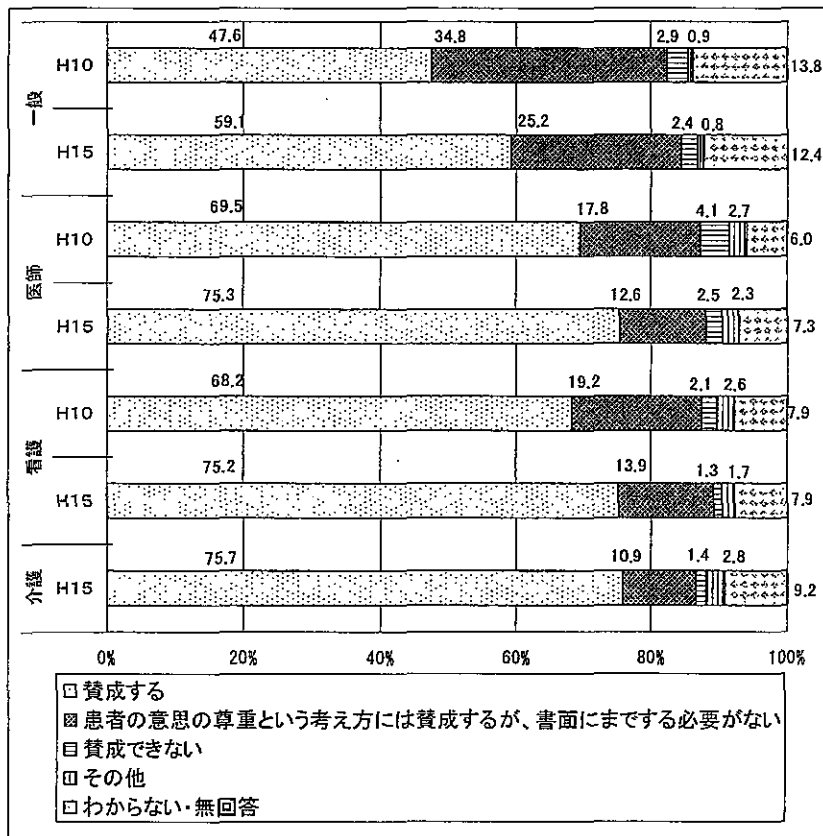


H10に同様の調査を行っている場合には比較して示している。H15は、「一般」国民、「医師」、「看護職」、「介護施設職員」合計14000人を対象とした調査。回収率52%

リビングウィル(書面による生前の意思表示)の 考え方についての意識

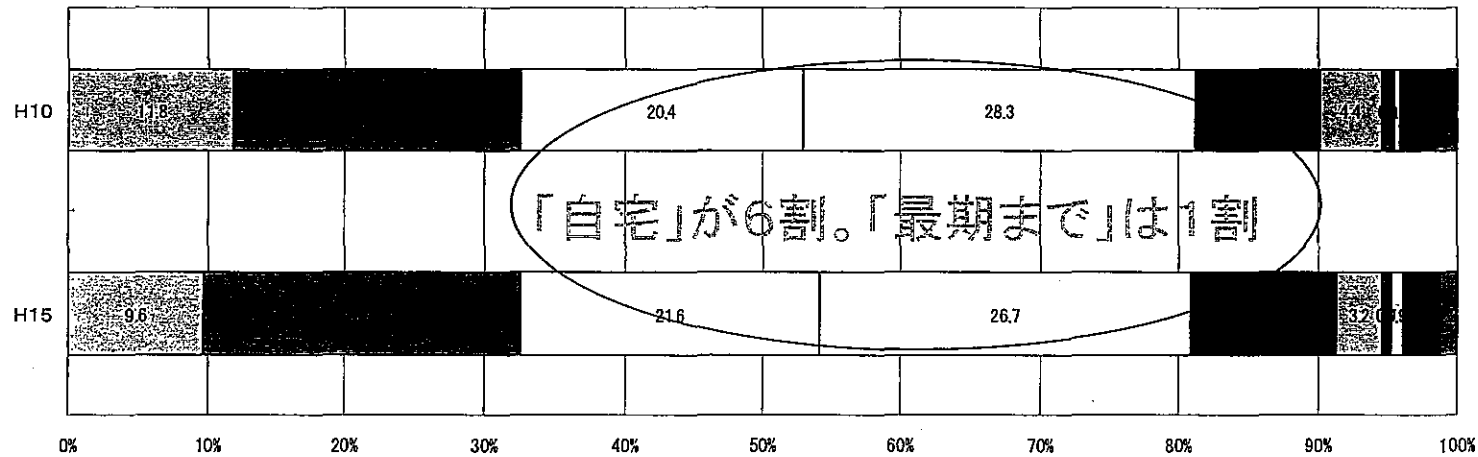
リビングウィルの考え方に「賛成する」とする回答は過半数であり、この考え方は国民の間に受け入れられつつある。

「賛成する」とする回答した者の中で、「そのような書面が有効であるという法律を制定すべき」とする国民は、半数を下回っている。



終末期における療養の場所

問 ご自身が痛みを伴い治る見込みがなく死期が迫っている場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。



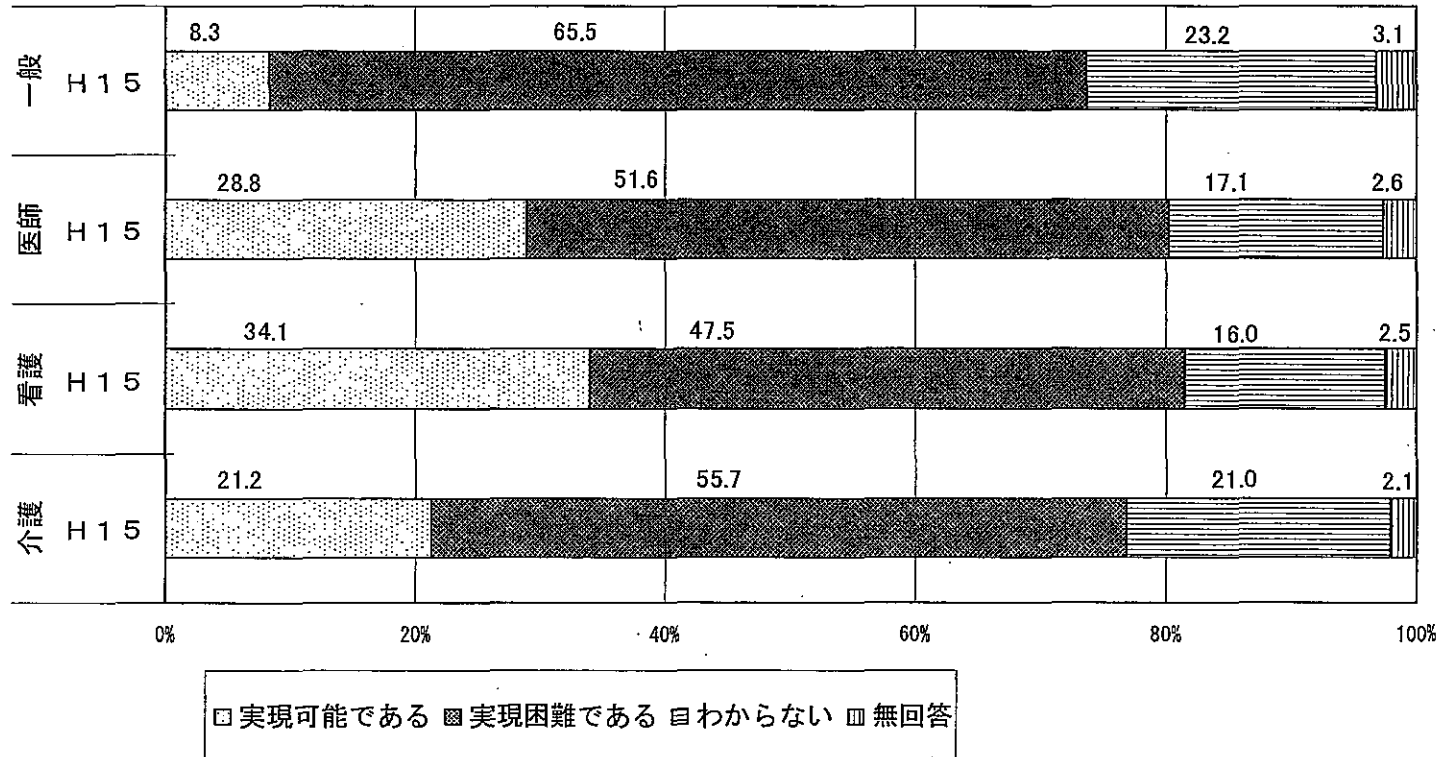
自宅希望 →

- なるべく早く今まで通った(又は現在入院中の)医療機関に入院したい
- なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい
- 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 自宅で最後まで療養したい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- 老人ホームに入所したい
- その他
- わからない
- 無回答

終末期医療に関する調査等
検討会報告書(H16. 7)より

終末期における療養の場所

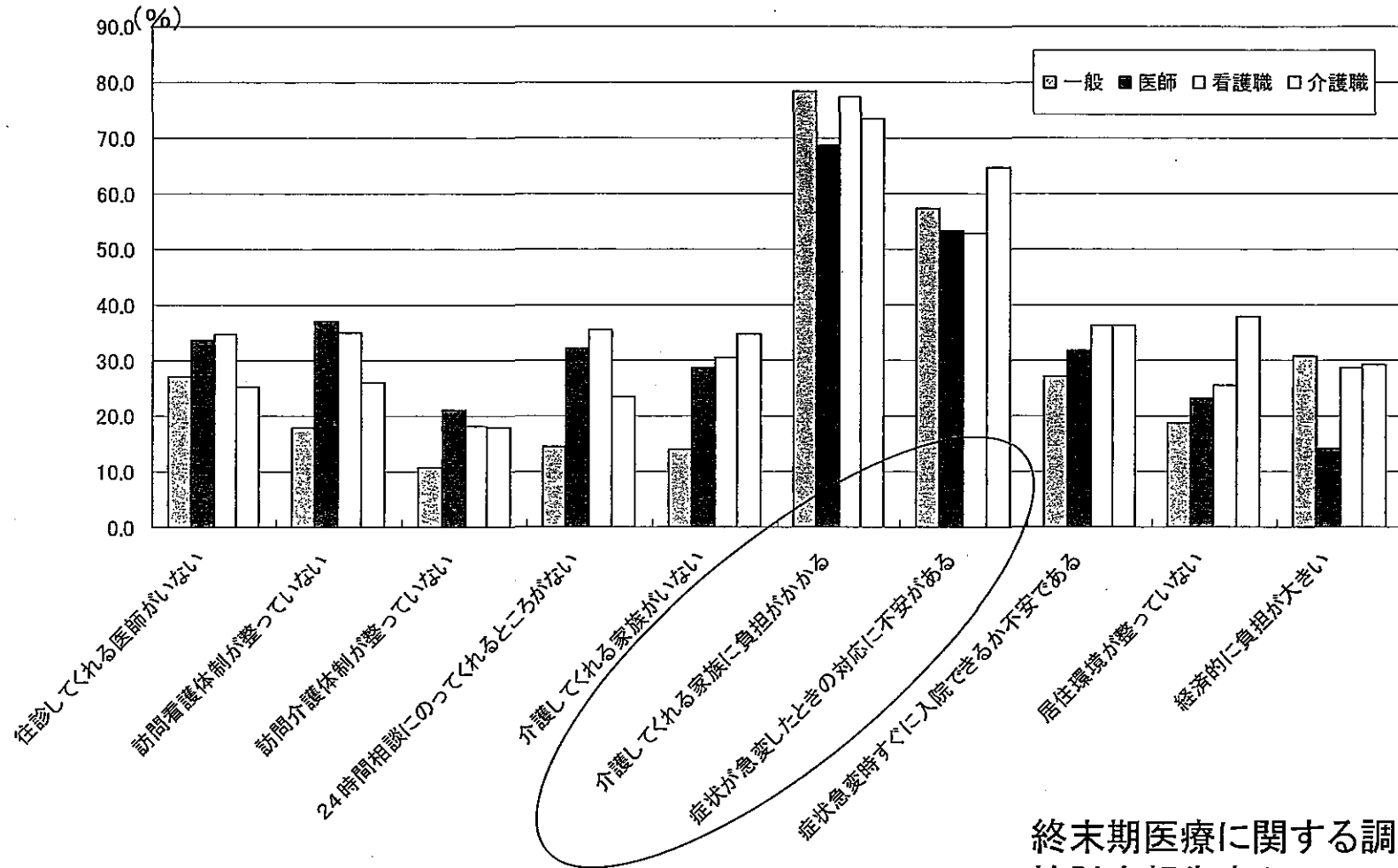
問 自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。



終末期医療に関する調査等
検討会報告書(H16. 7)より

自宅で最期まで療養することが困難な理由

問 最期までの自宅療養が実現困難であるとお考えになる具体的な理由をいくつかもお答えください。(前の問で「実現困難である」と回答した人に対する質問)



終末期医療に関する調査等
検討会報告書(H16. 7)より